

港区派遣型一時保育・育児支援家庭訪問 あい・ぽーと子育てサポート事業

利用会員の皆様へ カバイ通信 第35号

「カバイ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「ありがとう」という意味です。この事業は、ニュージーランドのプレイセンターの活動に学ぶ面もあって、マオリ語を用いています。

2015年2月15日
特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行
代表理事：大日向 雅美
住所：〒107-0062
東京都港区南青山2-25-1
電話：03-5785-1577
FAX：03-5786-3264

「カバイ通信」は、2月・5月・8月・11月との15日に発行します。
ホームページから、ご覧になれます。<http://www.ai-port.jp/>



◆◆会員の皆様からの声◆◆

～利用会員より～

〇才3か月よりお世話になっていますが、愛情深く、熱意をもって取り組まれるお姿に、私たち家族にとって、かけがえのないご縁を頂いたと、思っています。また、綺麗な字でびっしりと書かれた保育記録は、私たちの宝物です。
(武田さんより)

初めての出産から利用させていただき、もうすぐ4年になります。支援会員の皆様が、本当に子どもが好きでお仕事されているのが伝わるのか、子供もいつも機嫌よく過ごしています。近所にお住いの方も多く、道で会ったりすると声をかけて頂いたりして、地域で子育てを応援していただけているのを実感しております。子育ての事とか、地域の事などいろいろと情報をいただいたり、急な時にもサポートの方を探していただいたりと、企業にも負けないサービスを提供していただき本当に感謝しております。今後も、利用させて頂きたいので、支援会員様の拡大を期待しております。

(C.Kさんより)

～支援会員より～

小さな手を繋ぐ時、すやすやと寝息が肩を伝う時、親御さんの顔が安心と共にパッと笑顔になる時、いつもとても嬉しく温かい気持ちになります。私にとり、ご家族とのご縁は、大切な「宝物」です。

(釋さんより)

支援内容は、個々違いますが、ママやパパがご帰宅されるまでのお留守番は同じです。「ただいま」の声を聞いた時のお子様の一瞬の表情が大好きです。その日のお子さんからのメッセージを感じます。そして、成長を感じます。

(匿名さんより)

◆◆派遣型一時保育支援会員（2級認定者）とは？◆◆

子育て経験などの豊かな人生経験を生かして、地域の役に立ちたいというお気持ちで、NPO法人あい・ぽーとステーションが実施する「子育て・家族支援者養成講座」を受講し、一定の知識と技能を有していることを「あい・ぽーとステーション」が認定した方々です。

利用者の方からの感謝のお気持ちを励みに、地域の子育て力向上のために、相互扶助の精神をもって、活動されています。

※3級認定者は、あい・ぽーと内の一時保育「あおば」、講座保育や区内で行われる行事の際の保育などの集団保育で活動しております。



◆◆事務局よりお知らせ◆◆

病後児保育に関するお願い

病後児保育をご利用の場合は、「会員のしおり」(p5)にあるように、「港区病後児保育派遣利用連絡票」の届けが必要となります。尚、感染拡大を防ぐ観点から、利用会員の皆様には下記の点についてご協力願います。

○発熱などの症状が治まっても、学校保健安全法規則に従い、登園、登校が認められていない期間に保育を依頼される場合は、病後児保育としてご依頼下さい。

○病状が不安定（高熱など）または感染の恐れがある場合のご利用はご遠慮ください。

保護者様の急病時にお子さんの保育を依頼される場合

お子様の状態を十分に確認され、保育場所を御自宅内の別室に設けるなど、感染拡大防止にご協力願います。

※「カバイ」通信は、8月、11月、2月、5月の15日に発行しますので、ホームページからご覧下さい。[\(http://www.ai-port.jp/\)](http://www.ai-port.jp/)
尚、ご覧頂けない場合は、FAX又はご郵送いたしますので、お手数ですがお電話にて事務局までお知らせ下さい。

港区サポート事業室
担当：池田・松本・影山・林